

愛媛県・市町連携推進プラン 平成27年度版(概要)

～「チーム愛媛」 第二ステージへ!～



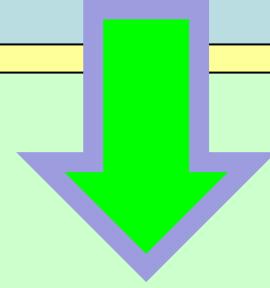
◇『チーム愛媛』の更なる推進

「チーム愛媛」の具体的取組

県・市町連携推進本部
 ・連携施策創出・実行
 ・市町村合併検証 (H26)

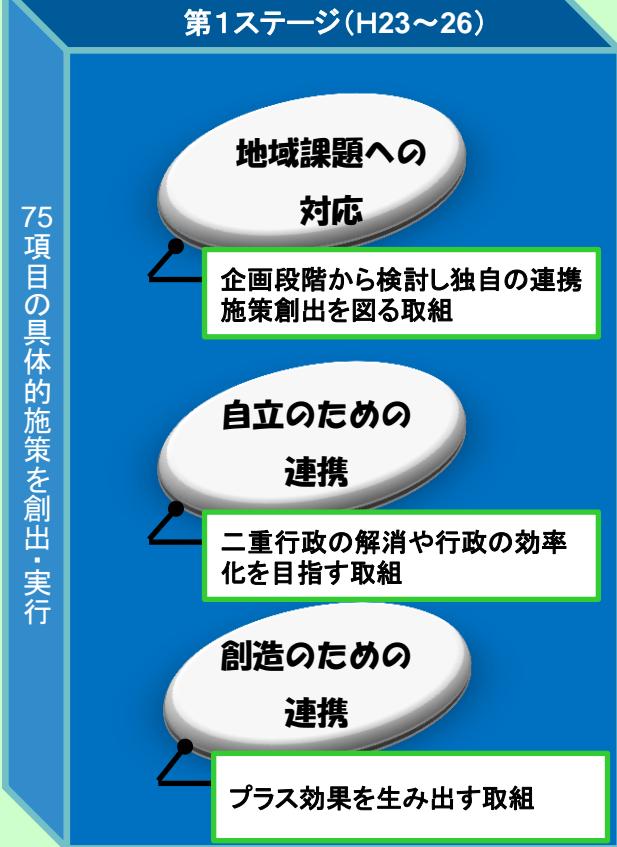
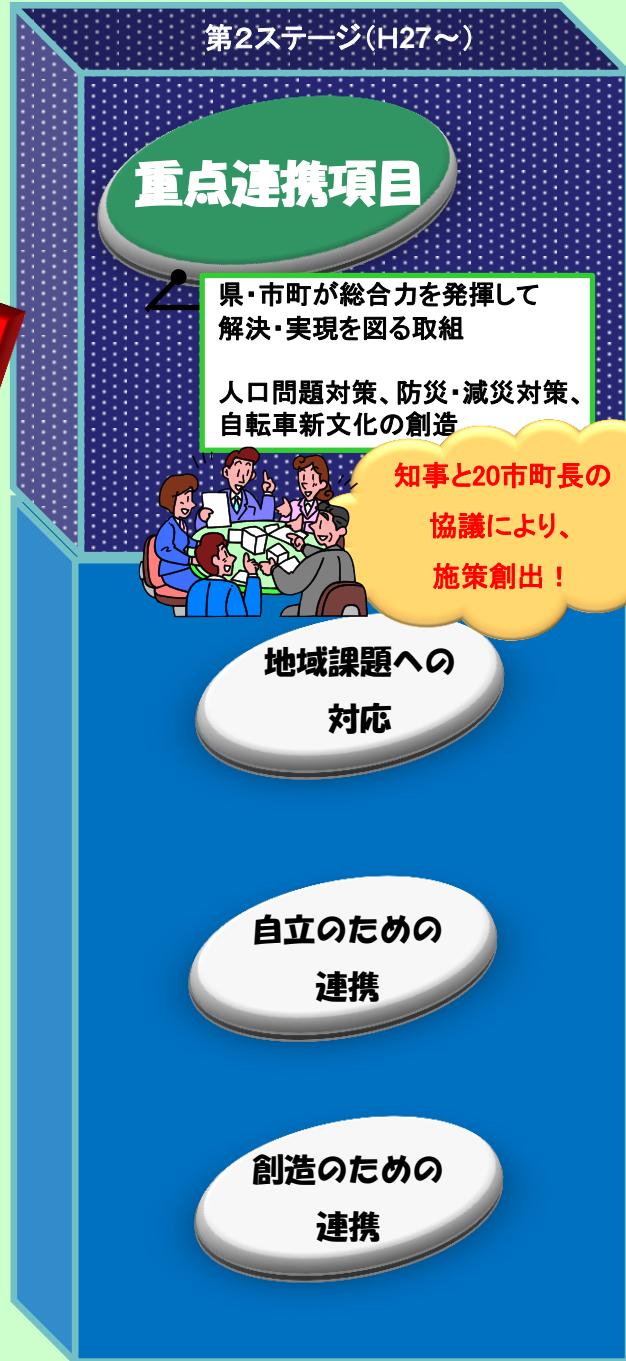
市町の運営支援
 ・支援担当職員制度
 ・サポートBBS運用

行政改革の推進
 ・行革甲子園
 ・先進事例研究会



連携の意識が定着

大きな課題に
 チャレンジ!!



◇連携施策の実行

◎27年度からの新規連携施策(17項目)

地域課題への対応(8項目)

鉄道を軸とした連携

◇新幹線導入への意識醸成や観光情報の発信

台湾との交流拡大

◇河内晩柑輸出事業の推進
 ◇サイクリングコースの姉妹協定を契機とした交流拡大

文化財保護行政の推進

◇文化財の保存・活用情報の共有と修理・
 修復に係る人材・資材の確保

ブランド力向上と魅力発信

◇パブリシティ活動による全国への情報発信の強化

自転車新文化の創造

◇自転車の安全利用の促進
 ◇県下全域でのオフロード自転車競技会の開催

協働による地域づくり

◇屋外広告物の適正化推進

『自立』『創造』(9項目)

①緊急消防援助隊の後方支援体制の強化

②橋梁やトンネル等点検の県による一括発注

③障害者等住宅確保要配慮者の居住確保の推進

④災害時における県下統一の障害者意思表示
 カードの導入

⑤認知症ケアパスの作成

⑥常駐型救急ワークステーションの整備

⑦東予東部地域の山岳観光情報の集約・発信

⑧県立図書館図書遠隔地返却サービス

⑨修学旅行のバス料金に係る保護者負担軽減

◎連携施策の拡大・深化・発展

◇公衆無線LAN環境の整備

避難所等に約830箇所設置⇒県内主要観光施設等に「えひめFreeWi-Fi」整備推進(27年度目標:1,000箇所以上)

◇「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界文化遺産化

文化庁との協議⇒三角寺、龍光寺、横峰寺、明石寺とこれらに接続する遍路道の史跡指定や名勝指定等に係る調査の実施

◇建設工事等の入札契約業務

入札システムを県と8市町が共同開発・利用⇒27年度から今治市、新居浜市が参加予定

◇愛媛マルゴト自転車道の推進

コース設定、ブルーライン設置⇒コースの充実(路肩の拡大等)、サービスサイトの多言語表示化

◇えひめ国体・えひめ大会の推進

本県開催決定⇒宿泊、輸送、式典、競技会運営、広報等各分野で開催準備を具体化・本格化

■取組の主な効果等

◇行政の効率化・二重行政の解消

・合同庁舎化、入札システム共同化 ⇒経費縮減 ・ 税務職員の相互併任 ⇒ 税収増

◇行政の総合力発揮

・自転車新文化の創造 ⇒ 交流拡大 ・ 連携物産展 ⇒ 実需増

取組継続
 新規取組実行
 実績積み重ね
**効果
 拡大**

連携施策の実施状況・主な効果（抜粋）（H24～26）

地域課題への対応

項目	主な実施状況	主な効果
＜小規模・高齢化集落対策＞		
1 集落連携による地域活動組織化の推進 ⑳	【地域活動組織化】 モデル地区で、地域住民主体の話し合いやまち歩きを実施 【集落間情報交換・ネットワーク構築】 集落代表者等を対象とした研修交流会開催、フェイスブック運営、集落情報誌発行	<ul style="list-style-type: none"> ・地域づくり協働体の立ち上げに向けた機運醸成 ・集落間の情報交換やネットワーク構築の促進
＜協働による地域づくり＞		
2 住民集会の開催を通じた住民主体の地域づくりの推進 ㉑	モデル地域で住民主体の住民集会を開催し、地域づくりに向けた事業案を策定	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な主体の参加による新しい発想の創出や、住民主体の地域づくり意識の醸成 ・廃校や地域資源の有効活用
＜ICT環境の整備＞		
3 公衆無線LAN環境の整備 ㉒	<ul style="list-style-type: none"> ・民間通信事業者が避難所や県市町村庁舎等約830箇所に公衆無線LAN機器を設置 ・県内主要観光施設に公衆無線LAN機器を設置する「えひめFreeWi-Fiプロジェクト」をH26.8にスタート（436施設でサービス提供中（H26.12月末現在）） 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時等における通信手段が充実・改善 ・国内外観光客の利便性向上 (効果額 約5,600万円(設置費)、約9,300万円/年(維持費)) ※自治体が独自整備した場合の見込み経費との差
＜自転車新文化の創造＞		
4 サイクルトレイン・サイクルオアシスの拡充 ㉓	【サイクルトレインの拡充】 沿線市町・高知県と連携 【サイクルオアシスの拡充】 愛媛マルゴト自転車道のコース沿いのコンビニエンスストアと協議	サイクリストの利便性向上、コースの魅力向上 <ul style="list-style-type: none"> ・運行区間延長(宇和島駅から窪川駅まで延長) ・増便(予讃線:25年度8回→26年度39回) ・「コンビニサイクルオアシス」として愛媛マルゴト自転車道コース周辺に88箇所開設
＜ブランド力向上と魅力発信＞		
5 南予地域の長期的観光戦略とブランド化 ㉔	<ul style="list-style-type: none"> ・食の拠点・道の駅の魅力・発信力強化 ・アウトドア推進団体の育成、「滑床アウトドアフェス2014」の開催等による魅力発信 ・町歩きガイドマップ作成とキーワードラリーの実施 ・南予観光PR活動（道後温泉、九州等） ・住民グループ支援、着地型旅行商品販売等 	南予地域の一体的な情報発信・誘客活動と、広域周遊の仕掛けづくりによる交流人口・実需の拡大
6 予土地域連携による観光振興㉕	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリングイベント「四万十・南予横断 2リバービューライド」開催 ・サイクリスト・レスキューマップ作成 ・民間団体が連携し行うサイクリング環境整備事業への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・交流人口の拡大（「四万十・南予横断 2リバービューライド」参加者：183名） ・県境を跨いだ広域連携の促進
7 県外における県・市町連携物産展の開催 ㉖	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪の「ダイキなんば店」において、県産品を一堂に集めた物産展を開催（25年度：5回、26年度：3回実施予定） ・東京・名古屋・大阪の百貨店等で、個別の市町との連携物産展を開催（26年度） 	<ul style="list-style-type: none"> ・約2,410万円売上（ダイキ、25・26年度） ・売れ筋商品の常設販売化 ・市町の販路開拓意識の高まり
＜有害鳥獣対策＞		
8 生息・捕獲情報の共有化と住宅地への出没対策 ㉗	<ul style="list-style-type: none"> ・県鳥獣害防止対策推進会議等において、警察等関係機関に協力要請 ・鳥獣害見える化システム構築(26～28年度)に向け、デモ地域等での捕獲データ収集・入力や各市町等を対象とした利用説明会を開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・警察等関係機関との連携強化による対応の迅速化 ・県農林水産研究所HPに野生鳥獣の捕獲・目撃情報を掲載し、広く県民に周知

『自立』・『創造』のための連携

項目	主な実施状況	主な効果
1 県と市町の税務職員相互併任 ㉘	税務職員の相互併任を実施し、合同滞納整理等を実施 (H24～) 南局本局管内4市町 (H26～) 八幡浜支局管内5市町 今治支局管内2市町	個人住民税の徴収確保 (効果額 2億713万円(県1億200万円、市町1億513万円) ※滞納繰越額の削減額(取組開始前と26年12月末の比較))
2 メンタルヘルス対策の合同実施 ㉙	県・市町共同で県地方局・支局に健康相談室を設置(精神科医・保健師を配置)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同設置による財政負担の軽減 ・メンタルヘルス対策の充実(相談件数1,918件 うち市町分637件)(H24.4～26.12末現在)
3 行政広報紙面の効果的な活用 ㉚	県・市町の広報紙にイベント情報等を相互掲載(24年4月～)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の交流人口の拡大を後押し ・広告料節減効果(効果額 県:約300万円、市町:約300万円(26年度末まで))
4 学校における防災力強化の連携 ㉛	県主催の防災士養成講座に市町の教職員が参加 (25年度:7市町、60名) (26年度:5市町、15名(H26.12現在))	<ul style="list-style-type: none"> ・防災士資格取得者増による防災力強化 ・取組市町における防災士養成費用縮減(効果額 市町375万円)
5 建設工事等の入札契約業務 ㉜	<ul style="list-style-type: none"> ・入札システムを県と8市町が共同開発・利用(H26.7から運用開始) ・27年度から新たに2市が参加予定 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入経費や運営費のコスト縮減(効果額4,600万円/年(県1,500万円、市町3,100万円) ※単独運営との比較による6カ年(H25～30)の年平均縮減額)
6 愛媛マルゴト自転車道の推進 ㉝	<ul style="list-style-type: none"> ・全県版サイクリングマップ等の作成 ・サービスサイトの開設 ・ブルーライン設置 ・しまなみ海道で国際サイクリング大会開催 ・姉妹自転車道協定締結(しまなみ海道、台湾・日月潭) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サイクリストの快適性・利便性が向上 ・交流人口の拡大、二次情報の発信(サイクリングしまなみ:7,281名参加)(日月潭での記念式典で観光ブースを設置。来場者約5千人を対象に観光資源等をPR)
7 県と市町の合同庁舎化 ㉞	<ul style="list-style-type: none"> ・県と愛南町が基本協定調印(H26.2) ・愛南町が基本・詳細設計を実施(28年度:愛南町新庁舎に県愛南土木事務所等が移転予定) 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時等の迅速な対応体制 ・新庁舎建設費・維持管理費の縮減
8 動物愛護業務の連携強化 ㉟	松山市保健所での譲渡会(県動物愛護センターと共催)の回数を年2回から3回に増加	利便性の良い松山市保健所での回数増加により、譲渡機会の拡大や譲渡頭数の増加、動物愛護啓発効果が向上
9 Webサイト連携 ㊱	県HP内に市町のHPや観光・イベント情報等へのリンクを設定した市町情報ページを作成	利用者の利便性が高まるとともに、市町の観光情報等の発信力が強化

※㉘・㉙・㉚…24年度・25年度・26年度プラン掲載項目

※効果額は、試算額を含む